

令和7年度

予算書

令和7年3月19日

資料目次

1 令和7年度予算編成について	-1・2-
2 収支予算書	
(1)収支予算書(正味財産増減予算書)	-3-
(2)収支予算内訳表(正味財産増減計算書内訳表)	-4-
(3)資金調達及び設備投資の見込みについて	-5-
3 事業計画書	
(1)令和7年度事業計画	-6・7・8・9-
(2)令和7年度「物品預託と払出」計画	-10-
(3)令和7年度「ボランティア活動」計画	-11-

公益社団法人 熊本善意銀行

令和7年度予算編成について

—はじめに—

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが一昨年、「5類」に引き下げられてから私たちの暮らしは、徐々にコロナ前の状況に戻りつつあります。県内でも台湾積体回路製造(TSMC)をはじめとする半導体関連企業の集積、訪日客の増加などにより経済活動が活発化してきました。一方で世界的な異常気象、ウクライナ情勢や中東情勢に円安ドル高が絡んだエネルギーや食料品などの物価高騰の影響が、私たちの生活を直撃しています。さらに能登半島地震や日向灘地震などの自然災害が相次いで発生。県内でも引き続き、熊本地震や令和2年7月豪雨の被災地の復興、被災者の生活再建が課題になっています。

こうした中、当行は令和7年度も、物価高やコロナ禍などの影響を強く受けている障がい者や高齢者、ひとり親家庭をはじめ、熊本地震や豪雨の被災者などを支援している団体の方々への助成を通して、活力ある地域社会や福祉を築いていくお手伝いができればと願っております。

熊本善意銀行は昭和38年に設立され、今年で62年を迎えました。これまで運営できましたのも、会員の皆さまをはじめ、預託者やボランティアの方々のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。当行は今後も、県民の皆さまからお預かりした善意の金銭、物品などを、支援を必要とされているの方々につなぐ「善意の架け橋」としての役割を果たしてまいります。

本年度も皆さまのさらなるご支援ご協力をお願い申し上げます。

—概要と考え方—

熊本日日新聞社と地方経済総合研究所による県内企業の経営者意識調査では、令和7年の県内景気について「良くなる」または「やや良くなる」と回答した割合は57.2%となり、過去5年間で最高だった前年調査から10.3ポイント減少しました。台湾積体回路製造(TSMC)の進出による波及効果への期待が高まる一方で、人手不足や賃上げに対する懸念が広がっているためです。

こうした状況の中、当行の令和6年度の実取寄付金は、大口の預託者が減少するなどの影響で、予算をやや下回る見込みです。新型コロナウイルス禍の収束を追い風に経済は緩やかに回復していますが、物価高に賃金上昇が追いつかず、実質賃金の減少による消費マインドの低下など、先行きの不透明な状況は今後も続くと考えられます。

このような状況に鑑み、令和7年度は寄付金収入を前年度予算に対してほぼ同額にする予算とし、公益目的事業会計と法人会計を合算した総経常収益を23,153千円（前年度予算23,150千円）、前年度予算比100.0%としました。また、総経常費用は26,206千円（同26,485千円）で、前年予算比98.9%。総当期経常増減額は▲3,053千円（同▲3,335千円）です。

公益社団法人に求められる収支相償、公益事業比率、遊休財産保有制限の「財務3基準」を遵守し、より一層の安定的な運営を目指します。

地域に根差した社会福祉事業に取り組むため、法人会計と公益目的事業会計は以下のような予算にしました。

《法人会計》

法人会計は熊本善意銀行の運営維持に必要な基本経費を賄う会計で、会員の皆様からの会費収入に支えられています。ただし、収入の半分を公益目的事業に充てるため、経常収益予算は8,178千円（前年度予算8,175千円）で前年度予算比100.0%にしました。

管理費は前期同様、費用を公益目的事業と法人事業に分配しました。支出合計は2,736千円（同2,790千円）で前年度予算比98.1%、当期経常増減額は5,442千円（同5,385千円）です。

《公益目的事業会計》

公益目的事業会計は熊本善意銀行の社会福祉活動の根幹を表す会計で、収入は広く県民の方々から寄せられる「善意」の預託金です。これに会費収入の50%を加えて、経常収益予算は14,975千円（前年度予算14,975千円）とし、前年度予算比100.0%の予算にしました。

公益目的事業は従来 of 地域ボランティア活動支援や「小・中学校への車いす贈呈」、「100歳到達者の表彰」などをこれまで通り行っていきます。さらに障がい者福祉・児童福祉・高齢者福祉等の払い出し申請に基づく公益事業予算は、新聞・ラジオ・ホームページ等を活用して広く門戸を開き、ケースに応じて柔軟に対応していきたいと考えております。事業費は23,470千円（同23,695千円）で前年度予算比99.1%、当期経常増減額は▲8,495千円（同▲8,720千円）となり収入を上回る払い出しにしました。

令和7年度 収支予算書(正味財産増減予算書)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位 千円)

科 目	当年度	前年度(予算)	増減	前年度比
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受取会費	16,350	16,350	0	100.0
②受取寄付金	6,800	6,800	0	100.0
③為替差益	0	0	0	
④雑収益	3	0	3	
経常収益計	23,153	23,150	3	100.0
(2) 経常費用				
事業費(公益)	23,470	23,695	-225	99.1
管理費(法人)	2,736	2,790	-54	98.1
経常費用計	26,206	26,485	-279	98.9
当期経常増減額	-3,053	-3,335	282	91.5
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-3,053	-3,335	282	91.5
他会計振替額	-	-	-	
当期一般正味財産増減額	-3,053	-3,335	282	91.5
一般正味財産期首残高	21,273	23,634	-2,361	90.0
一般正味財産期末残高	18,220	20,299	-2,079	89.8
II. 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III. 正味財産期末残高	18,220	20,299	-2,079	89.8

※災害救援に関連する支出は、予算額を越えて執行することができます。

※一般正味財産期首残高の金額は予算策定時の推定値です。

令和7年度 収支予算内訳表(正味財産増減計算書内訳表)
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位 千円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合 計
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会費	8,175	8,175		16,350
受取会費	8,175	8,175		16,350
② 受取寄付金	6,800			6,800
受取寄付金	6,800			6,800
③ 為替差益	0	0		0
④ 雑収益	0	0		0
受取利息	0	3		3
経常収益計	14,975	8,178		23,153
(2) 経常費用				
事業費	23,470			23,470
役員報酬	299			299
給料手当	4,781			4,781
臨時雇用賃金	834			834
福利厚生費	233			233
旅費交通費	407			407
通信運搬費	649			649
消耗品費	586			586
印刷製本費	251			251
広告宣伝費	1,463			1,463
賃借料	921			921
会報発行費	497			497
支払助成金	6,752			6,752
障がい者福祉	1,433			1,433
児童福祉	3,033			3,033
災害見舞い助成	250			250
各種団体助成	2,036			2,036
チケット購入費	110			110
記念品購入費	2,887			2,887
新聞代・送料	371			371
車いす購入費	1,362			1,362
毛布購入費	319			319
減価償却費	609			609
為替差損	0			0
雑費	139			139
管理費		2,736		2,736
役員報酬		61		61
給料手当		979		979
臨時雇用賃金		171		171
福利厚生費		48		48
旅費交通費		83		83
通信運搬費		133		133
消耗品費		120		120
印刷製本費		40		40
広告宣伝費		300		300
賃借料		189		189
会報発行費		102		102
減価償却費		125		125
為替差損		0		0
雑費		385		385
経常費用計	23,470	2,736		26,206
当期経常増減額	-8,495	5,442		-3,053
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0		0
経常外収益	0	0		0
(2) 経常外費用	0	0		0
経常外費用	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-8,495	5,442		-3,053
他会計振替額	-	-		-
当期一般正味財産増減額	-8,495	5,442		-3,053
一般正味財産期首残高	-	-		21,273
一般正味財産期末残高	-	-		18,220
II. 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0		0
III. 正味財産期末残高	-	-		18,220

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日中に資金調達の予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の内容	支出予定額（税込み）	資金調達方法
設備投資の予定はありません		

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

広報面では事業の活発化と公平性を保つために、新聞とラジオのほかホームページをより充実させ、啓発活動に力を入れていきます。

地域社会が直面する問題の改善を目的として、事業を行う団体・個人に金銭助成や物品支援を行います。

- 6 -

物品助成：公1事業 ① チケット等配布（110 千円） ・ 高齢者福祉施設、障がい者福祉施設などで日常生活を送られている方々やひとり親家庭の方々などに、楽しいひとときを過ごしてもらうためスポーツ観戦、寄席等の入場券を贈呈します。 ② 敬老の日 百歳到達者に記念品贈呈等：第45回（2,887 千円） ・ 県内の満百歳を迎える方々に記念品を贈って長寿をお祝いするとともに、千代の園酒造預託の清酒「百歳万歳」も贈呈予定です。本年の対象者は約1050名の見込みで熊日メディアコム・熊日物流販売、熊日各販売センターの協力を得て、敬老の日前後に自宅や入所施設などにお届けします。	前年度予算 より増額 前年度予算 より増額
郷土紙提供（371 千円）：公1事業 ・ 熊本県出身の青年海外協力隊員に郷土紙提供。（約20名） 青年海外協力隊の要請により、世界各地の発展途上国で農業や技術、教育支援などを行っている県出身の隊員たちに、激励の気持ちを込めて郷土紙を「電子版」で提供します。	前年度予算 と同額
車いす贈呈（1,362 千円）：公1事業 ・ 障がいやけがなどで車いすが必要な児童・生徒に使用してもらうとともに、総合学習で福祉体験活動等を行う際にも利用するため、希望する小中学校に車いすを贈呈します。（30台）	前年度予算 より減額
毛布・タオル贈呈（319 千円）：公1事業 ・ 県下の被災者へお見舞いとして毛布を贈呈 ・ 障がい者スポーツ大会等の参加賞としてタオルを贈呈	前年度予算 より減額
広告宣伝（1,463 千円）：公1事業 ・ 個人や団体、企業の社会貢献活動を啓発、啓蒙するとともに、公益活動への関心を高めるため、善銀パートナー制度などについて下記の媒体を使用し、活動内容を広く告知します。 ・ 新聞広告の掲載、ラジオでの呼び掛け ・ ホームページの充実、その他チラシなどの製作	前年度予算 より減額

2、〔会務の運営〕

総会、理事会、運営委員会等に関する事項

① 総会

- ・ 定時総会は、6月に開催。
- ・ 臨時総会は、必要に応じて開催。

② 理事会

- ・ 定時理事会は、2回以上開催。
- ・ 臨時理事会は、定款14条のいずれかに該当する場合に開催。

③ 運営委員会

- ・ 運営委員会は、効果的な事業の推進を図ることを目的に、各種事業の整理・調整を行うため開催（年6回以上）。

④ 同種活動団体との情報交換

- ・ 富山県善意銀行や中部善意銀行等と情報交換を行い、活動の参考にします。

3、〔その他の事業〕

① ボランティア団体等の拡充

新型コロナウイルス感染症の長期化で令和2年2月下旬から見合わせている施設との橋渡しについては、令和6年6月より再開。現在、18の団体・個人に年間を通してボランティア奉仕活動を行っていただいております。約180人のボランティアがおられます。引き続き、安全で安心なボランティア活動を行って頂くために、全国社会福祉協議会の「ボランティア活動保険」加入を推奨します。また、若手のボランティア登録の拡大にも努めます。

② 肢体不自由児ふれあい写真展（旧デジタル写真展）に共催

公益財団法人熊本県肢体不自由児協会が主催している「肢体不自由児ふれあい写真展」を令和7年度も共催します。同写真展は県内の肢体不自由児を対象にデジタル写真を募集し、文化活動を促進するとともに、肢体不自由児に対する社会の理解を啓発していくことを目的にしています。優秀作品に熊本善意銀行賞を授与し、特別支援学校やこども総合療育センター、希望する肢体不自由学級設置中学校などで巡回展示会を開催します。

③ 支援学校文化作品展の開催

支援学校の生徒の人格と個性を尊重し、可能性を最大限に伸ばせるように高校文化連盟特別支援学校専門部、一般財団法人熊本公德会とともに「支援学校文化作品展」を開催します。優秀作品に熊本善意銀行賞を授与します。

④ 障がい者福祉施設販売会（ほっと&ハートマーケット）の開催

一般財団法人熊本公德会とともに熊本市中央区上通町の「びぶれす広場」で、障がい者福祉施設が作製している製品の販売会を実施します。年2回（計4日間）の開催を予定しており、参加する障がい者福祉施設は無料で広場を利用して、物品販売を行います。

⑤ 預託の拡充

企業、個人からの預託は、新聞・ラジオのほかにホームページでも見ることができます。ホームページをさらに充実させるなど多様な広報活動を行い、預託の拡充に努めます。新規会員の募集は前記媒体でのPRと、機関紙やチラシ等で勧誘を図っていきます。また、引き続きサポーター制度である「善銀パートナー」への参加を呼び掛け、寄付文化の醸成に努めます。

令和7年度「物品の預託と払出」計画

令和7年4月1日～令和8年3月31日

令和7年度の「物品の預託と払出」計画は前年度並みと考えております
(前年度実績参照)

預託者	品名	払出先
荒木雅子さん他2件	食品4箱	きらきら星レジデンスなど4施設へ
九州ラーメン党	ラーメン200杯	広安愛児園など2施設へ
熊本城稲荷神社・高橋稲荷神	御神饌27箱	友愛会銀杏寮など5施設へ
(株)興農園	花の球根2582球	ゆめの里など10施設へ
中央ゴルフ(株)	おもちゃなど413点	熊本ライトハウスなど11施設へ
千代の園酒造(株)	清酒「百歳万歳」988本	本年度の百歳到達者へ
NPO法人日本国際童謡館	コンサート招待券240枚	熊本県ひとり親家庭福祉協議会 など6福祉団体へ
堀口章さん他10件	玄米・米135 ^{キロ}	くまもと支援の会など22施設・団体へ
三牧恵さん他5件	生活用品など8箱	菊池園など5施設へ
季節料理ふじかわ他13件	未使用はがき・書き損じはがき125	交換・換金し福祉資金へ
宮本真由美さん他10件	未使用切手154210円分	交換・換金し福祉資金へ
預託者数150件(延べ223回)	使用済み切手40 ^{キロ}	換金し福祉資金へ
熊本善意銀行	毛布50枚	火災見舞いとして25件

令和7年度「ボランティア活動」計画

令和7年4月1日～令和8年3月31日

令和7年度の「ボランティア活動」計画は、令和6年度なみと考えております。

(令和6年度実績参考)

奉仕する団体・人	ボランティアの種類	回数	奉仕先
さつき倶楽部	演奏	83	くるみの森など
スマイリー健&アロハ・スターハワイアンズ		3	ケアサポート南の風など
みゆき&オートルズ		4	コスモスファミリー熊本など
熊本ハワイアン倶楽部		1	ニチイケアセンター保田窪
くまモンひよっとこ会	演芸	9	東区託麻市営団地老人会など
ボランティアグループ隣保組		5	長野区敬老会と長寿を祝おう会など
さくらば会		2	入佐地区収穫祭など
ボランティアグループ和会		2	ひまわり園など
熊本さわやかハイヤ倶楽部		1	東区託麻市営団地老人会
熊本民謡会		1	デイケア成仁
明日香会	大道芸	5	コスモスファミリー熊本など
ハレルヤ笑いヨガくらぶ	健康体操	5	デイケア成仁など
熊本奇術クラブ	マジック披露	4	デイサービスセンター福まる道場など
柏原幹治	相撲甚句など	3	笑顔の広場水前寺デイサービス
KARA・KARA	合唱	2	ケアプラザ宇土など
ろごす腹話術くまもと	腹話術	1	託麻ワークセンター
田中智恵子	使用済み切手整理	20	換金のための仕分け作業
森病院ボランティアサークル・患者有志		2	
匿名		1	
合計		154	